

第3章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

平成24年10月1日現在の病院数は54施設（精神科病院8施設、一般病院46施設）で、前年と変わりがなかった。一般診療所は729施設で、前年に比べ3施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が3施設減少した。歯科診療所は282施設で、前年と変わりがなかった（表3-1）。

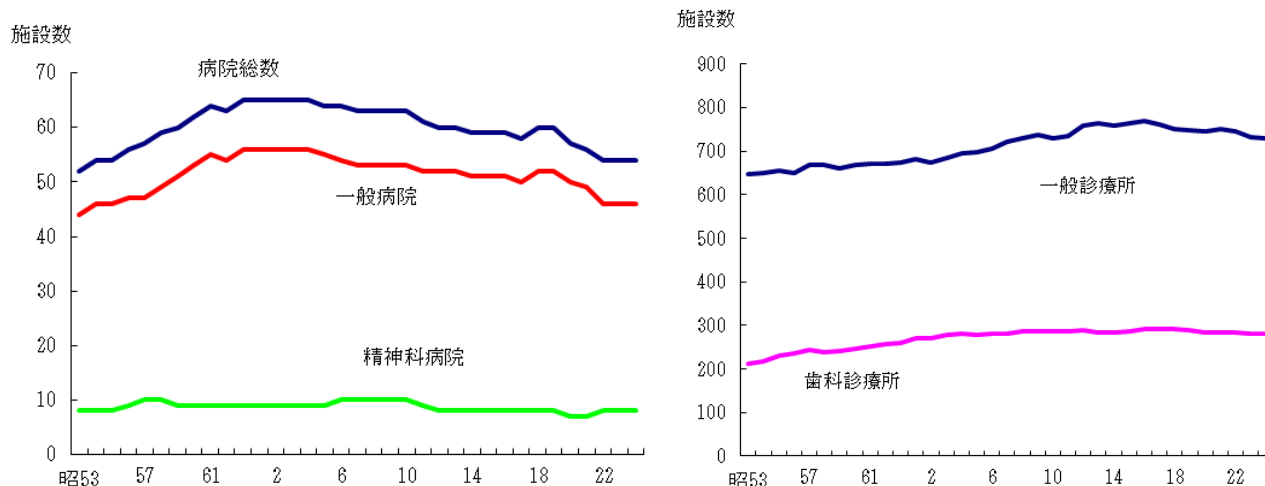
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	平成24年	平成23年	増減数	平成24年	平成23年
総数	1,065	1,068	△ 3	100.0	100.0
病院	54	54	-	5.1 (100.0)	5.1 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(14.8)	(14.8)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	46	46	-	(85.2)	(85.2)
一般診療所	729	732	△ 3	68.5 (100.0)	68.5 (100.0)
有床	57	60	△ 3	(7.8)	(8.2)
無床	672	672	-	(92.2)	(91.8)
歯科診療所	282	282	-	26.5	26.4

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

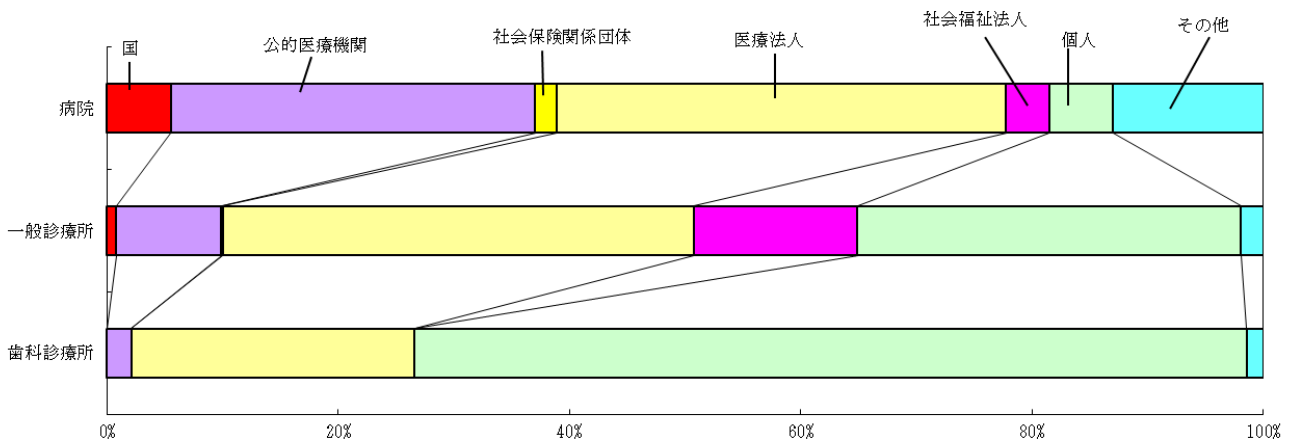
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の 38.9%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の 31.5%である。一般診療所は平成 10 年には個人が 5 割、医療法人が 3 割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成 20 年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成 24 年の状況は、医療法人が 40.7%、個人が 33.2%である。歯科診療所は大部分が個人で、72.0%を占めており、ついで医療法人が 24.5%となっている（図 3-2）。

図 3-2 医療施設の開設者割合（%）



人口 10 万対施設数を前年と比べると、病院は変わらず、一般診療所及び歯科診療所は 0.3 増加した。

全国と比べると、病院は 0.9、一般診療所は 24.6 高く、歯科診療所は 13.8 低くなっている（表 3-2）。

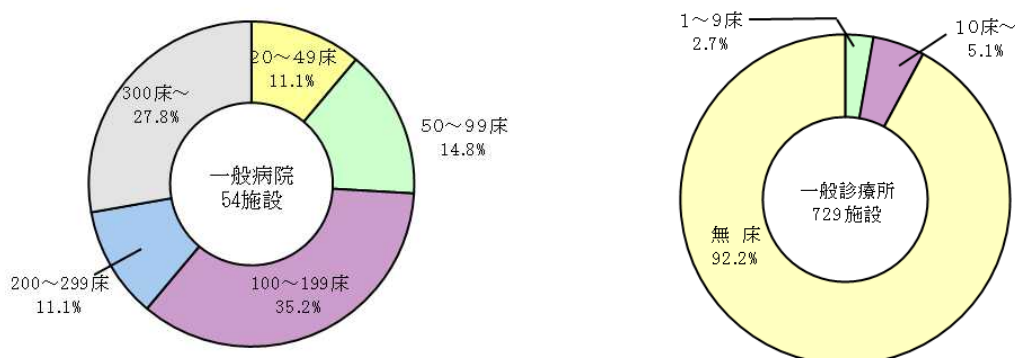
表 3-2 人口 10 万対医療施設数

	島根県		全国
	平成24年	平成23年	平成24年
病院	7.6	7.6	6.7
一般診療所	103.1	102.8	78.5
歯科診療所	39.9	39.6	53.7

一般病院を病床規模別にみると、20～49 床が 11.1%、50～99 床が 14.8%、100～199 床が 35.2%、200～299 床が 11.1%、300 床以上が 27.8%であった。

一般診療所は 1～9 床が 2.7%、10 床以上が 5.1%、残りの 92.2%は無床である（図 3-3）。

図 3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

平成 24 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 224 床減少した。病床の種別にみると、療養病床が 2 床増加し、精神病床が 25 床、一般病床が 201 床減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から 35 床減少した（表 3-3）。

表 3-3 医療施設の種別別にみた病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成24年	平成23年	増減数	平成24年	平成23年
総 数	11,872	12,131	△ 259	100	100
病 院	11,184	11,408	△ 224	94.2 (100.0)	94.0 (100.0)
精神病床	2,432	2,457	△ 25	(21.7)	(21.5)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	33	33	-	(0.3)	(0.3)
療養病床	2,300	2,298	2	(20.6)	(20.1)
一般病床	6,389	6,590	△ 201	(57.1)	(57.8)
一般診療所	688	723	△ 35	5.8	6.0
歯科診療所	-	-	-	-	-

注：（ ）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 1.1 減少し、療養病床が 2.5 増加し、一般病床が 21.9 減少した。

また、一般診療所は前年より 4.2 減少した。

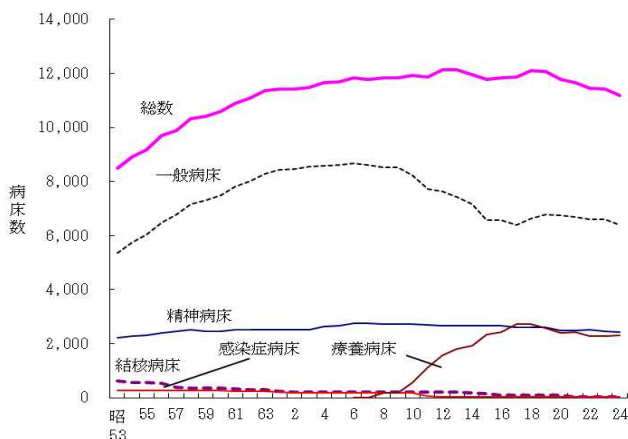
病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表 3-4）。

表 3-4 人口 10 万対病床数

	島根県		全国
	平成24年	平成23年	平成24年
病 院	1,581.9	1,602.2	1,237.7
精神病床	344.0	345.1	268.4
感染症病床	4.2	4.2	1.4
結核病床	4.7	4.6	5.7
療養病床	325.3	322.8	257.9
一般病床	903.7	925.6	704.4
一般診療所	97.3	101.5	98.5

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年から平成 18 年の間、療養病床の増加に伴い減少した。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）。

図 3-4 病床の種別にみた病院の病床数



注:1) 「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床(療養型病床群)をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群をのぞく)」である。

注:2) 「療養病床」は、平成 12 年までは「療養型病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 54 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 49 施設で、ついで整形外科が 36 施設、外科が 33 施設となっている。平成 23 年と比べると呼吸器内科等 4 診療科目が増加し、皮膚科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 729 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 550 施設であり、ついで小児科が 177 施設、消化器内科（胃腸内科）が 136 施設、循環器内科が 98 施設となっている。平成 23 年と比べると、呼吸器内科等 7 診療科目が増加し、内科等 12 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成24年	平成23年	増減数	平成24年	平成23年	増減数
内科	49	49	-	550	566	△ 16
呼吸器内科	15	14	1	36	35	1
循環器内科	22	22	-	98	97	1
消化器内科 （胃腸内科）	18	18	-	136	141	△ 5
腎臓内科	5	5	-	5	5	-
神経内科	32	31	1	29	30	△ 1
糖尿病内科 （代謝内科）	4	4	-	12	11	1
血液内科	3	3	-	2	2	-
皮膚科	23	24	△ 1	49	50	△ 1
アレルギー科	2	2	-	33	30	3
リウマチ科	3	3	-	16	16	-
感染症内科	-	-	・	1	1	-
小児科	26	26	-	177	186	△ 9
精神科	23	23	-	47	46	1
心療内科	6	6	-	31	31	-
外科	33	33	-	79	87	△ 8
呼吸器外科	8	8	-	-	-	・
循環器外科 （心臓・血管外科）	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	3	3	-	-	-	・
気管食道外科	-	-	・	2	2	-
消化器外科 （胃腸外科）	2	2	-	5	5	-
泌尿器科	21	20	1	21	22	△ 1
肛門外科	4	4	-	15	15	-
脳神経外科	14	14	-	8	8	-
整形外科	36	36	-	60	62	△ 2
形成外科	7	7	-	7	8	△ 1
美容外科	-	-	・	3	4	△ 1
眼科	21	22	△ 1	49	50	△ 1
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	29	-
小児外科	3	2	1	2	2	-
産婦人科	16	16	-	17	17	-
産科	2	2	-	2	2	-
婦人科	6	7	△ 1	14	13	1
リハビリテーション科	31	31	-	57	55	2
放射線科	21	22	△ 1	29	30	△ 1
麻酔科	20	20	-	14	14	-
病理診断科	-	-	・	-	-	・
臨床検査科	1	1	・	-	-	・
救急科	1	1	-	-	-	・
歯科	6	6	-	5	5	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	11	11	-	-	-	・

4 利用状況

平成24年の1日平均在院患者数は9,095人であり、前年から211人減少した。うち、精神科病院は6人、一般病院は205人減少した。1日平均新入院患者数は280人で前年と変わりなかった。1日平均退院患者数は280人で、前年と変わりなかった。1日平均外来患者数は7,602人で、前年から75人減少した（表3-6）。

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	平成24年	平成23年	増減数	平成24年	平成23年	増減数
病院総数	9,095	9,306	△ 211	280	280	-
精神科病院	1,616	1,622	△ 6	5	5	-
一般病院	7,479	7,684	△ 205	275	275	-
病床総数	9,095	9,306	△ 211	280	280	-
精神病床	2,202	2,229	△ 27	8	8	-
感染症病床	0	0	-	0	0	-
結核病床	9	7	2	0	0	-
療養病床	1,922	1,971	△ 49	9	8	1
一般病床	4,962	5,099	△ 137	263	263	-

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	平成24年	平成23年	増減数	平成24年	平成23年	増減数
病院総数	280	280	-	7,602	7,677	△ 75
精神科病院	5	5	-	410	408	2
一般病院	275	275	-	7,192	7,269	△ 77
病床総数	280	280	-	・	・	・
精神病床	8	9	△ 1	・	・	・
感染症病床	0	0	-	・	・	・
結核病床	0	0	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	260	260	-	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成24年の病院の病床利用率は、総数が81.5%、精神病床が90.7%、療養病床が85.0%、一般病床が77.4%、結核病床が27.1%、感染症病床が0.1%であった。（図3-5）。

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

